

2023年7-9月のメガネレンズ・コンタクトレンズケア用品販売速報

GfK Japan（東京：中野区）は、全国のメガネチェーン店における視力矯正用メガネレンズとコンタクトレンズ販売店*におけるケア用品の販売実績を元に、市場規模相当に拡大推計し公表した。

■メガネレンズ

2023年第3四半期（7-9月）のメガネレンズの販売は、枚数前年比4.0%増と好調に推移した。レンズタイプ別に見ると、単焦点レンズが1.9%増であったのに対し、累進屈折力レンズが9.9%増と大幅に前年を上回った。

メガネレンズ全体の税抜き平均価格は、レンズ1枚当たり4,274円と前年の同時期から3.5%上昇した。特に販売枚数の多い単焦点レンズが6.3%上昇し、全体の平均価格を押し上げる要因となった。

数量ベースの成長に加え、平均価格が上昇したことにより、販売金額前年比は7.6%増と好調に推移した。



■コンタクトレンズケア用品

2023年第3四半期（7-9月）のコンタクトレンズケア用品の販売は、金額前年比6.4%減とマイナスで推移した。店頭では3.8%減、インターネットは9.2%減となり、インターネットの減少幅が全体に影響した。

タイプ別ではハードレンズ用MPSが金額前年比7.4%増と好調に推移した。ソフトレンズ用MPSは金額10.8%減で、同じソフトレンズ用でよりプレミアムなタイプとなる過酸化・ポピドンヨードは金額前年比8.5%減とどちらもマイナス傾向となった。一方1リットル当たりの税抜き平均価格はソフトレンズ用MPSが1,300円で前年同時期から1.6%ダウン、過酸化・ポピドンヨードは15.0%増の2,611円と違いが出た。

*コンタクトレンズ専門店および眼鏡専門店（インターネット販売を含む）を集計対象としております。

